

稲沢FC

地域の公園を主な練習場所にしており、練習後には、感謝とリスペクトの意を込めて選手全員で毎回、公園のゴミ拾いをしている。集めたゴミは、「選手」が順番で持ち帰り処分している。

取り組み内容

専用グラウンドの無い我がチームは、10年以上地域の公園を主な練習場所に使っています
仲間と走ったり、ボールが蹴れる環境があることに感謝し、練習後には、選手全員で毎回、公園のゴミ拾いをしています

この活動の発端は、十数年前の選手が、地域のゲートボールをしている方が活動後にゴミを拾っている姿を見て、自分たちもやろうと決め自主的に始めたのがきっかけです
その伝統が、脈々と受け継がれ、今に至ります

ゴミを集めるための袋は全員がサッカーバックに常時携帯し集めたゴミはもちろん、「選手」が順番で持ち帰り処分しています。
高学年が試合で不在の際には、残った選手が自主的に袋をカバンから出しゴミを回収し持って帰っています

感謝を「考動」で表すことを作ってくれた先輩、その「考動」を受け継ぎ継承してくれる「選手」本チームの取り組みはゴミ拾いを通じて何に感謝し考動するのかを大切に活動しています

「楽しく 激しく 継続は力なり」

